



山田小学校 学校づくり懇話会

平成30年7月6日
横浜市立山田小学校

懇話会便り

校長 本多 靖

向暑の候 皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解ご支援をいただきありがとうございます。

さて、本年度第1回「山田小学校 学校づくり懇話会」を6月27日（水）に開催いたしました。本校における教育活動の状況等について説明し、地域やPTA役員の方々からご意見をいただきました。懇話会で話し合われたことについて報告いたします。

【懇話会で話し合われたこと】

◇教育活動の状況の報告

- 1 山田小学校中期学校経営方針をもとに、今年度補足した教育活動の内容について説明した。
- 2 学力向上アクションプランについて
学習状況調査の結果、全体的に横浜市の平均、もしくは少し下回っているのが現状である。また、学習意識・生活意識を通して自尊感情・自己肯定感が低い児童が多いことがわかった。児童の実態を把握し、子どもたちの願いやニーズに合わせた指導技術を身につけ、子どもたちの力を高めていく必要がある。
- 3 本年度の重点研究について
国語の授業を通して「できる喜び」や「わかる楽しさ」を味わわせ、子どもたちの自己肯定感や自己有用感を高めていきたい。そのために、効果的な学習形態を工夫する。
- 4 豊かな心の育成推進プランについて
あらゆる教育活動において共に生きていることを自覚させ、他者とのかかわりを大切にして、豊かな感性や態度を育てていく。縦割り活動や地域交流を通して、様々な人と関わる機会を設ける。
- 5 健康・体力プランについて
体育科学習はもちろんのこと、学校独自の取り組み（短縄タイム、歯磨きタイム）を通して児童の健康・体力づくりに取り組んでいく。
- 6 山田小学校いじめ防止基本方針をもとにいじめ防止に向けた学校の考えや取組について説明した。
- 7 小中一貫教育の取組について
東山田中学校ブロックの4校が「自分を高め、互いを認め合い、人とつながる児童生徒を育みます」という共通の目標に向かい、児童・生徒同士の交流や教職員の研修を行っている。学校運営協議会をブロックで運営していく。
- 9 その他
児童指導の面で地域の皆様の協力を得ている。今年度も地域の協力を得て、健全な児童の育成を図っていく。

◇本校における教育活動に対してのご意見・ご質問

○水筒について

- ・災害に備え、一年中持たせている学校もあるようだが、本校は熱中症対策として持たせている。災害時については、児童用の水を用意してある。また、本校の地下には地下貯水槽があるので災害時も大丈夫である。児童用の水を保護者からの納入金で購入することについては東山田中学校ブロックで情報交換をしながら検討中である。

○大阪北部地震から

- ・危険なブロック塀についての調査が文科省からきている。スクールゾーン協議会でも情報を収集しようと思っているが、何か情報があったら提供してください。

○いじめについて

- ・家庭での話し合いが大切。また、気になるときは声をかけて、「大人は見ている」ということを周知していきたい。

○あいさつについて

- ・東山田中学校ブロックは中学生も会うと挨拶をしてくれる。小学生の良い手本になっている。

今回のご意見・ご感想を真摯に受け止め、今後の教育活動の改善に向け、努めてまいります。

《懇話会会員》

会長	東山田連合町内会会長	小泉	武	様
副会長	P T A会長	白戸	寿	様
委員	東山田三丁目町内会会長	佐藤	輝久男	様
	東山田四丁目町内会会長	田中	修司	様
	東山田第五町内会会長	吉田	稔	様
	東山田第六町内会会長	原木	正司	様
	東山田第七町内会会長	原木	浩国	様
	コンフォール東山田自治会会長	猪股	秀雄	様
	南山田町内会会長	宮本	誠一	様
	東山田連合町内会顧問	八木	洋	様
	東山田連合町内会 民生委員	長谷川	恵美子	様
	東山田連合町内会 主任児童委員	三徳	薫	様
	四つ富士会会長	鈴木	誠	様
	学校見守り隊隊長	深瀬	武是	様
	はまっ子ふれあいスクールチーフパートナー	小泉	喜代子	様
	P T A副会長	青木	香織	様
	P T A副会長	銀林	恭子	様
校長	山田小学校長	本多	靖	
庶務	山田小学校副校長	小林	恭子	
書記	山田小学校主幹教諭 教務主任	伊瀬知	大記	
書記	山田小学校主幹教諭 児童支援専任	市川	由紀子	